



岡崎市内で活躍する福祉な人＝みんなのしあわせを考え環境を整えようと**楽しく**活動している人をあいチャンが突撃インタビューしてご紹介します

突撃あいチャン 福祉なひと vol.2 早川 正美さん

早川さんの今を表すワード

【岡崎市聴覚障害者福祉協会企画部部長】 【手話奉仕員養成講座講師】 【星の金貨】 【手芸大好き】 【友愛の家定期講座「はじめてのパッチワーク講座」受講中】

——岡聴会（岡崎市聴覚障害者福祉協会）ではどんなお仕事をしていますか？

一年を通してイベントや講座を企画しています。例えばハイキング、最近ではロウソク絵描き体験など。毎月会報を作成し会員さんに向けて発信しています。イベントや講座は非会員さんでも参加OKです！ぜひどうぞ。（イベントや講座！友愛の家と一緒に（笑）by あいチャン）

——聴覚障がい者を取りまく環境について思うことを教えてください

昔と思うと聴覚障がい者への理解が広まってきたように感じます。映画やドラマの影響か手話を学びたいかたが増え喜ばしいことです。でも公共交通機関を利用する時、表示が見えなかったり集中していないと降りる駅がわからなくなることがあります。考えてみて。ろう者とそうでない人の割合が逆だったら。例えば電車のアナウンスなんてないと思います。ろう者が多い世界なら情報を見て確認できるものももっと多いはず。障がいを知って想像して考える。大切なことです。（障がいを理解するって難しい。知る想像する考える、それならみんなできるはず by あいチャン）

——早川さんのパワーの源は？

用事を作る！ずっと家にいるのは合わない。友達と出かけたりランチしたり、だんなさんとデート！？したり。自分を楽しませようと考えます。（早川さんの一ヶ月のスケジュールをみせてもらうと予定がびっちりキレイに色分けされていました！by あいチャン）

じつは早川さん、約20年前のドラマ「星の金貨」がキッカケでだんなさんとご結婚されたとか。のりピーのファンだっただんなさまに早川さんが手話を教えて欲しいとお願いされたんですって。ステキなこぼれ話をお聞きすることができました。

あいチャンの願いを快く引き受けてくださりインタビューが実現しました。気長にお付き合いくださった早川さん。ありがとうございました。

絵本の読みきかせ

授業前の時間を利用して絵本の読み聞かせをしている小学校が多くありますね。子どもたちはとても楽しみにしているそうです。

読み聞かせをする側の楽しみは、まずどんな本を読もうと考えたり、本を選ぶために図書館でたくさんのお本に出会えることです。



本を決めたらどんな工夫をしようと考えを巡らせますし、本を読んでいるときキラキラした子どもたちの顔ときたら！ワクワク感が伝わってきます。最近では、おじちゃんおばあちゃん世代のボランティアさんが増えているそうですよ。興味のあるかたは各所にお尋ねください。

